

宇城市 議会だより

UKI-CITY ASSEMBLY REPORT

30号
2012年8月



緒方亜香里選手ロンドン五輪出場おめでとう!(市長室にて)



発行・編集／宇城市議会

TEL 0964-32-1111(代) FAX 0964-34-3557

CONTENTS

審議した議案等とその結果	2
議会の構成	4
委員会報告	5
一般質問	7
臨時会の概要	12
議会の主な動き	12

平成24年第2回定例会

会期：平成24年6月7日から6月25日(19日間)

●審議した議案等とその結果

●議案

番号	件名	年月日	審議結果
第40号	宇城市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	H24.6.25	原案可決
第41号	宇城市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	H24.6.25	原案可決
第42号	外国人登録法の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	H24.6.25	原案可決
第43号	宇城市働く婦人の家条例の一部を改正する条例の制定について	H24.6.25	原案可決
第44号	宇城市インダストリアル研修館条例の一部を改正する条例の制定について	H24.6.25	原案可決
第45号	熊本縣市町村総合事務組合同規約の一部変更について	H24.6.25	可決
第46号	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	H24.6.25	可決
第47号	平成24年度宇城市一般会計補正予算(第1号)	H24.6.25	原案可決

●報告

番号	件名	年月日	審議結果
第1号	平成23年度宇城市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	H24.6.7	報告
第2号	平成23年度宇城市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	H24.6.7	報告
第3号	平成23年度宇城市下水道事業会計継続費繰越計算書の報告について	H24.6.7	報告
第4号	平成23年度宇城市土地開発公社の経営状況の報告について	H24.6.7	報告
第5号	平成23年度三角町振興株式会社の経営状況の報告について	H24.6.7	報告
第6号	平成23年度不知火温泉有限会社の経営状況の報告について	H24.6.7	報告
第7号	平成23年度有限会社アグリパーク豊野の経営状況の報告について	H24.6.7	報告
第8号	宇城市第2期障がい者計画の報告について	H24.6.7	報告

●同意

番号	件名	年月日	審議結果
第2号	固定資産評価員の選任について(林田 博氏)	H24.6.25	同意
第3号	監査委員の選任について(高田 幸夫氏)	H24.6.25	同意

●諮問

番号	件名	年月日	審議結果
第2号	人権擁護委員候補者の推薦について(喜津木 司朗氏)	H24.6.25	「適任」と認め 答申することに 決定
第3号	人権擁護委員候補者の推薦について(坂崎 秀直氏)	H24.6.25	「適任」と認め 答申することに 決定
第4号	人権擁護委員候補者の推薦について(伊藤 秀子氏)	H24.6.25	「適任」と認め 答申することに 決定

●その他

番号	件名	年月日	審議結果
—	常任委員の変更	H24.6.7	変更
—	議会運営委員の選任	H24.6.7	指名
—	宇城広域連合議会議員の選挙	H24.6.7 H24.6.25	指名推選 当選人決定
—	上天草・宇城水道企業団議会議員の選挙	H24.6.7	指名推選 当選人決定
—	農業委員の推薦について	H24.6.7	4人を推薦
—	議会改革特別委員会の設置について	H24.6.25	10人の委員で 構成する「議 会改革特別委 員会」を設置 し、これに付託 して調査が終 了するまで閉 会中の継続調 査とすること 特別委員は議 長が指名

議会の構成

◎議長 西村 智

○副議長 松下 倫三

●議会運営委員会（◎委員長 ○副委員長）

委員会名	定数	委員名
議会 運営委員会	8人	◎ 椎野 和代 ○ 渡邊 裕生 尾崎 治彦 中村 友博 長谷 誠一 松野 孝敏 永木 伸一 石川 洋一

●常任委員会（◎委員長 ○副委員長）

委員会名	定数	委員名
総務 常任委員会	7人	◎ 河野 一郎 ○ 溝見 友一 福永 貴充 五嶋 映司 中山 弘幸 石川 洋一 岡本 泰章
建設経済 常任委員会	6人	◎ 堀川 三郎 ○ 大嶋 秀敏 高田 幸夫 橋田 和征 長谷 誠一 永木 伸一
民生 常任委員会	7人	◎ 福田 良二 ○ 渡邊 裕生 河野 正明 尾崎 治彦 椎野 和代 中村 友博 入江 学
文教 常任委員会	6人	◎ 豊田紀代美 ○ 園田 幸雄 坂本 順三 松下 倫三 西村 智 松野 孝敏

●特別委員会（新設分）

委員会名	定数	委員名
議会改革 特別委員会	10人	福永 貴充 園田 幸雄 福田 良二 渡邊 裕生 中村 友博 長谷 誠一 入江 学 豊田紀代美 中山 弘幸 石川 洋一

(※)正・副委員長は、後日互選されます。

委員会 報告

今定例会に提案された議案の審査のため開催された常任委員会における審査の経過と結果を報告します。

総務常任委員会

●一般会計補正予算（第1号）

○財政管理費について

「宇城地域振興基金積立金として、100万円が計上されているが、内容はどのようなものか」との質疑に対し、「ふるさと応援寄附金で、今回は環境衛生面に使っていたきたいと寄附されたもので、これらの寄附金については、それぞれ目的別に台帳管理を行っている」との答弁があった。

○企画費について

「コミュニティ助成事業補助金

500万円の内容はどのようなものか。また、これまでの実績及び申請する際の周知等はどのようになっているのか」との質疑に対し、「今回のコミュニティ助成事業は、宝くじ社会貢献広報事業の中の一つで、県内の各自治体からの申請を取りまとめ、県から財団法人自治法人センターに進達し、財団で審査決定される。今年度は県全体

で76件あげられ、38件が採択されている。今回本市においては3件申請していたが、この中で不知火龍燈太鼓保存会の整備費として250万円、小川町の北小野地区公民館の備品購入費として250万円の2地区が採択となっている。これまでの実績は、平成21年度が2件申請し、2件採択の390万円、内訳は小川町の弦巻地区公民館の改修工事費140万円と、同じく小川町の上町・中町・新町獅子舞保存会の備品購入費として250万円。平成22年度は2件申請し、1件採択の250万円、これ

は不知火町の御領五区公民館の備品設備費として250万円。平成23年度は不採択であった。また、周知については、市ホームページの『まちづくり』の中の、その他の助成ということでも広報している」との答弁があった。

建設経済常任委員会

●一般会計補正予算（第1号）

○農業費について

「農業振興費の生産総合事業補助金に対して増額の要請があったときの見解はどうか」との質疑に対し、「財政当局と協議した結果、今の財政状況からすると増額はなし」との答弁があった。

また、「本市の場合は、補助金交付要綱がきちんと整備されていると思うが、規定はどのようなものか」との質疑があり、「今回の生産総合事業補助金の交付要綱は整備されていない。新たにその要綱をつくる予定である」との答弁があった。

これに対し、「生産総合事業などの名称は、時と場合によって変わっていく。次年度にはその名称が使えず、1年きりの補助金交付要綱になるかもしれない。個人が機械を買う場合や、農協が団体会大掛かりな機械を買う場合の補助金は、名称が変わっても本質は同じであるから、そのような補助金については、一律で事業費の何割など決めておかなければいけない」との指摘があった。



民生常任委員会

● 廃棄物の処理及び清掃に関する

条例の一部を改正する条例の制定

「ごみ袋を大中小3種に改める
とのことであるが、他の市町はど
うか。本市の袋は破れやすいとの
指摘もある。広域連合でゴミ袋の
統一はできないのか」との質疑
に対し、「宇土市はすでに3種類
のゴミ袋で実施している。破れや
すいとのことについては、宇土市
と同じ材質を取寄せ、それを参考
に、改良して発注したいと考えて
いる」との答弁があった。

● 外国人登録の廃止に伴う関係条

例の整理に関する条例の制定

「7月9日から施行となってい
るが、制度が変わるということを
外国人にどう伝えるのか」との質
疑に対し、「今は仮の住民票作成
時期になっており、そのことを周
知するため本市におられる218
人の外国人すべてにその通知を郵
送している」との答弁があった。

● 一般会計補正予算（第1号） ○ 老人福祉総務費について



宇城市養護老人ホーム松寿園

「養護老人ホーム譲渡先選定委員
会委員報酬30万円については、委
員8人の6回分と説明を受けたが、
今年度中に結論を出すのか。また、
選定は公募やプロポーザルなどす
でに方針を決めているのか」との
質疑に対して、「慎重な審議が必
要であり時間が掛かるかもしれな
いが、今年度中に結論を出せたら
と思っている。基本的には公平公

正な選定を行うべきであり、ある
程度早い時期に決定しなければな
らなと思っています」との答弁が
あった。

文教常任委員会

● 働く婦人の家条例の一部を改正 する条例の制定



宇城市働く婦人の家

「指定管理者制度にいつ頃から移
行する予定か」との質疑に対し、
「平成25年4月1日を予定してお
り、現在利用者協議会等に説明し、
大方の納得を得られている」との

答弁があった。さらに「指定管理
者の候補はいるのか」との質疑に
対し、「公募で行うのでまだ候補
はいない。懸念しているのは、指
定管理者制度に移行すれば、ある
程度利益が上がらなければなら
ないので、果たして公募して応募が
あるのか心配している。応募が無
ければ現在の形の継続になると思
う」との答弁があった。

● 一般会計補正予算（第1号）

○ 社会教育費について

「自治公民館等整備補助金10
2万5千円は、申請が上がったも
のを絞った結果6か所になった
のか」との質疑に対し、「絞った
結果ではなく、公民館の方で区長
を通じて毎年9月に要望調査を
行っているが、この分については
要望が無かったため、当初予算に
計上しておらず、今回要望があつ
たので補正をお願いするものであ
る。また、5月に公民館実態調査
を行った結果を基に予算要求をし
たものである」との答弁があった。

一般質問

河野 一郎 議員

「交通対策について」

問 平成22年6月議会で、交通渋滞の認識と交通渋滞緩和の方策を質問。交通量調査を行い診断したいとの答えであった。平成23年度で、県と本市、宇土市で調査を行っているが、どのような調査をされたのか。そして、今後の取組を伺う。

土木部長 不知火支所交差点付近から松橋町中心部にかけての国道266号を主軸とする慢

性的な交通渋滞問題などに対処するために、平成23年度に交通実態調査を行った。今後は、県が事業主体となり、交通量調査結果を基に、通行車両の行き先までを調査する「交通解析調査」を行い、問題の解決に向け、新たな道路整備計画を作成する。

問 国道266号の渋滞緩和に大きく貢献すると予測されている長崎久具線、不知火中学校から南消防署までの新設道路について、平成29年度の完成に向けて努力されているが、現在の進捗状況を伺う。

土木部長 松橋工区約700mの区間は、今年3月に供用開始をした。不知火工区は、不知火中学校から約400mの区間は既に改良工事が完成しているが、残りの800mは、今年度用地買取りに入り順次改良工事に着手する。そして、最後に大野川を渡る100mの橋りょう架橋工事と改良区間の舗装工事を行い、平成29

年度の完成を目指す。



一部開通した長崎久具線（松橋工区）

「危機管理について」

問 市中心部不知火地区内水対策について、解析業務委託を2回、724万円の費用を掛け方向性が出されているのに、地元で説明がない。どのように計画を推進するのか問う。

土木部長 松橋駅西地区の開発構想と並行して排水計画等を具体化させ、地元説明会を行いたい。

市長 不知火地区の内水対策は真剣に取り組む。

五嶋 映司 議員

「住宅リフォーム助成制度について」

問 この制度をどう理解しているか。

経済部長 住宅などを改修するとき、地元業者に発注した場合に工事費の一部を助成する制度で、業者の仕事確保、市内経済の活性化、居住環境の向上を図るものと解している。

問 急速にこの制度を導入している自治体が増えていますが、県内の実施状況はどうか。

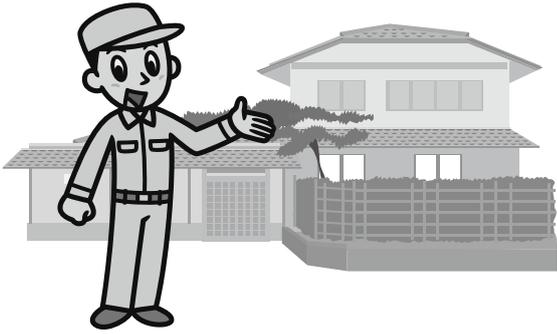
経済部長 県内の実施状況は、類似の制度を含めると8市6町で実施している。

問 県下14市の中で8市がこの制度を実施している。つまり、半数以上の市がこの制度を導入している。昨年4月にこの制度を実施した佐世保市の例を挙げると、4月から2か月で268件の申請があり、予算額2225万円で工事総額3億

4000万円と、16倍の経済効果を生んでおり、6月には補正予算で6000万円を追加している。このように、多くの地域で実績が出ている。宇土市でもこの6月から実施している。この制度の経済波及効果をどう考えているか。

経済部長 助成額に対して、工事総額だけでも数倍から数十倍になると思われ、経済波及効果は期待できるものと考ええる。

問 本市でも導入すべきと考ええるが、どうか



市長 課題があるようで、総合的に検討する。

「就学援助の申請方法について」

問 少しずつ改善されてきたが、申請書の税法の文言や民生委員の意見など基本的な改善が進んでいない。どうなっているのか。

教育部長 申請者が目安となるような世帯人員の収入など、分かりやすい文章に改正したいと考えている。

※他に、武道教育導入に対する安全対策を質問しましたが、紙面の都合で割愛します。

(五嶋)

中山 弘幸 議員

「職員の懲戒について」

問 去る第1回の定例会初日、市長より職員の懲戒について報告があった不祥事について、「勤務時間を偽って報告し、

不正に給与を多く受給していた。そして、徴収の実績を上げるために自分のお金で立替え払いをしていた」ということだが、一般的な生活保護の不正受給や様々な給付金の不正受給とは明らかに違う。公務員という立場上、これは公金の着服に当たる可能性があると思うが、見解は。

総務部長 徴収した保険料を使い込んだわけではないので、市職員懲戒審査委員会では、時間外勤務手当の不正受給があったとしても、公金の横領にについての事実はなかったということで判断、決定をした。

問 市民から見ればそういう解釈にはならない。正確に言えば、「給与の不正受給による公金の着服」ということが正しい理解だと思いが見解は。

総務部長 審査委員会で処置したので、議員の意見は真摯に受け止めて、これからもきち

んとした対応に努めたい。

問 今後は、市民から見ても納めることができるような処分であるべきで、市民感覚とずれのある懲戒の制度であるならば、今後改めるべき。

「子育て支援について」

問 医療費の無料化について、本年から小学3年生まで実現したが、仮に小学6年生まで、また中学3年生まで実施した場合の財政負担について。

健康福祉部長 小学校6年生までの対象人数が1714人となり、2046万円の増、同様に、中学校3年生まで引き上げると、1857人に対して2216万円の新たな負担となる。

問 保育園の運営について何度となく質問をしてきた中で、本市にある7つの公立保育園を全て民営化すれば、約3億1200万円の市の財政負担が軽くなる。保育の内容も公

立と私立で殆ど変わらない。また、もし万が一事故等があった時の対応も、変わらないうという答弁であった。それらを総合的に考慮すれば、公立保育園にこだわらず、民間にお任せしてもいいのではないか。そして、医療費助成制度を含めた子育て支援の充実を同時進行で進めれば、本市の全ての子どもが恩恵を受けられるのではないか。以前、市長から「基本は民営化」という答弁をいただいているが、改めて市長の見解をお尋ねしたい。

市長 議員の皆さんと相談をしながらいい方向に解決できればと思っている。私の意思が民営化ということは、今現在でも変わっていない。

豊田 紀代美 議員

「総合エネルギー計画について」

問 本市の将来を見据えた総合

エネルギー計画の策定について問う。

企画部長 県の総合エネルギーとの整合性を図り、本市として新エネルギーの導入や省エネルギーの推進など、より具体的な取組を図る。

「教育問題について」

問 本市小学校から校区外・市外進学流出児童数とその児童の学力データについて問う。

教育長 本市内指定校へ8人、本市外中学校への進学が34人、学力データについては教育的な配慮上具体的にお知らせできない。

問 学力データについては、平均値や統計処理をしたもので、個人が特定される情報は全く必要なく、個人情報には全く抵触しない。現状把握があつてはじめて分析や対策ができるかと考えるが。

教育長 平均値でも、子ども

たちの教育にプラスに働かない。教育的にはマイナスと判断する。

問 中学校受験者数（潜在的な希望者数）を含む受験先について問う。

教育長 平成23年度県立中学校の受験者数は51人であり、宇土中に21人、八代中に1人が進学している。また、私立中学校受験者は11人で、熊本市内に6人、県外に2人進学している。

問 平成25年4月から県下初の豊野小中一貫校一体型が誕生する。研究を積み、新しい試みにもチャレンジされ、県下でも優秀な成績を収め、市外の進学にストップが掛かり、市外から豊野小中一貫校に進学がなされるよう努力を期待する。

「道路整備について」

問 本市の小中学校通学路の危険箇所の状況と対策につい

て問う。

教育部長 児童生徒の生命安全確保に教育委員会としても、危険箇所の解消や対応を早くする。

問 松橋町本村・島・久具にまたがる浅川河川堤防敷きで、未舗装の市道が大変危険な状態であり、早急な対応が必要である。

土木部長 市道499号浅川左岸線は、延長900坪の砂利道の市道で、児童生徒の安全安心を確保するため、早急に県との協議を行い対応する。

問 自治体より材料費や資材を提供し、生活道路・通行量の少ない道路を地域の共同作業で行う舗装について問う。

土木部長 生活道路としての里道等の軽微な舗装について、市が作業に必要な資材や重機の燃料費を出す整備手法は十分検討する余地があると考え

「交通安全対策について」

問 国道57号西港界隈の特に浦島屋周辺のS字カーブでは物損や人身事故が数多く発生している。事故に対する対策をどうするのか。



国道57号三角西港界隈

総務部長 地元囑託員や交通安全協会などからの意見を集約し要望書を取りまとめ、併せて警察の交通取り締まり強化もお願いする。また九州地方整備局にも道路標識の改良依頼等を要望しながら少しで

も事故が減るよう努める。

「観光行政について」

問 小田良古墳塚の整備については範囲確定、学術調査などを行い、古墳として確定し、保存管理計画を作成した後、公園担当課とも協議し進めるとの答弁を以前受けたが、どのように進んでいるのか。

教育部長 4年前、県立大学の文学部の生徒と包括協定を結んで、古墳を活用した施策の調査検討をお願いした経緯がある。早速その資料を基に準備に取り掛かる

問 西港の自然遊歩道には木の橋、東屋があるが、木の橋は腐敗し、東屋は倒木が乗りかかり壊れようとしている。早急に対策が必要と思うがどうか。

経済部長 地権者の承諾、県との協議等必要となってくるものと思われ、諸課題の整理及び検証を行い検討してまいる。

問 観光特急A列車が運行されているが、シークルーズの発売までの時間がなく三角にはメリットがないような気がするが。

経済部長 企画部と連携し、運行時間についての要望をしてまいりたい。

問 市のイベントでは花の苗を業者から買取り、それを各地域に配布されているが、あれだけ素晴らしい花の学校があるわけだから、失業者を雇用し花をつくり、そして地元へ配布するなどできないのか。

経済部長 戸馳花の学校経営検討委員会の協議の中で、施設の公共性と収益のバランスがとれ、地域のイメージアップ及び活性化につながるよう方向性を見いだせばと期待している。

河野 正明 議員

「学校給食について」

問 学校給食の向上と負担軽減

減について、近年食材の高騰によって給食費が値上がりしており、単に物資を供給する機関というだけではなく、学校給食会としての姿勢、保護者の負担軽減を考慮した運営の見直しを図る必要があると思うがどうか。

教育部長 小学校で平均230円、中学校で260円の一食単価となっている。これからも良質で、できるだけ安価なものを計画的に購入し、栄養のバランスを考え、おいしい給食を提供できるよう取り組んでまいりたい。

問 学校給食会の必要性について問う。

教育部長 他県を含め、十分調査をし、検討してまいりたい

「鳥獣被害について」

問 鳥獣被害対策について問う。

経済部長 有害鳥獣駆除事業として720万9千円の予算

措置を行い、猟友会への駆除委託、タイワンリス買上げなどを実施してまいりたい。また、国庫補助事業の鳥獣外来防止対策推進交付金3835万2千円を活用し、ワナの購入やカラスを一斉駆除の弾丸購入、さらにはイノシシ、シカ侵入を防止する金網メッシュ柵約51^キロメートルを小川、豊野の要望地区で設置する。

問 ワナ特区制度について問う。

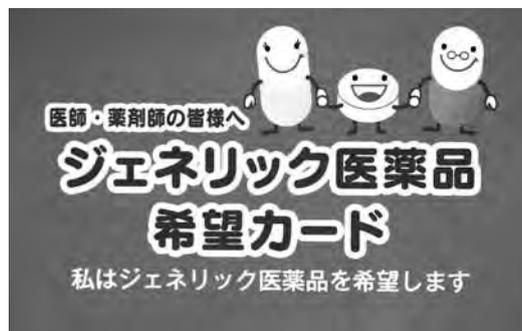
経済部長 本市においても猟友会員の高齢化や担い手不足が生じている。今後は新たな担い手の確保を推進するとともに、地域ぐるみで捕獲数を増やすため講習会等を開催し、捕獲補助員の確保に猟友会各支部と連携をとりながら、活動を行っていく予定である。

「国保医療費対策について」

問 ジェネリック医薬品希望カードの国保被保険者への配布について問う。

市民環境部次長 ジェネリック

医薬品希望カードについては、国保保険証を7月中旬に更新するので、その際に一緒に配布するようにしている。このカードを保険証と一緒に病院窓口



ジェネリック医薬品希望カード

高田 幸夫 議員

「くまもと観光大賞を受賞したフラワーフェスタについて」

問 5月22日の熊日新聞を見て喜び、感無量だった。受賞の評価と今後の在り方は。

市長 長期にわたる実行委員

会、生産者、行政が一体となって手作りのイベントの継続実施のためであると、実行委員会長の私としても高く評価している。

経済部長 フラワーフェスタは市の看板イベントとして位置付け、今後も実行委員会で創意工夫しながら実施してまいりたい。

「国道2号改良事業について」

問 旧自動車試験場までは4車線化されているが、以南の事業進展と展望は。また、豊福地区の通学路に関しては特段の要請、要望をしたい。

土木部長 熊本南病院前、市民病院入口、小川支所前の3か所の交差点改良事業として国土交通省との基本協定を締結している。用地交渉に入ったが、用地の抵当権抹消や相続、境界確定作業等が必要のため事務処理に多少の期間を要し

ている状況と伺っている。市道部分については国土交通省の進捗に合わせ用地交渉に入っている。4車線化については現時点では見通しが立っていないのが現状である。通学路については、安全であるべき指定通学路でもあるので、歩道のみ整備事業として今後国土交通省に要望活動を行い、児童生徒の安全確保につなげたい。

「来年度の職員採用について」

問 保育所の正規職員不足は保育に大きく影響していると捉えている。どのように把握しているのか。

健康福祉部長 公立保育園の職員数は保育園、児童館合せで213人。うち正規職員52人、非常勤・臨時職員161人である。市が責任ある保育を推進していくためには正規職員を適正に配置すべきと考える。段階的な人材登用を強く望んでいる。

平成24年第2回臨時会の概要

(平成24年6月1日)

●承認

番号	件名	年月日	審議結果
第1号	専決処分の報告及び承認を求めることについて (宇城市行政組織条例等の一部を改正する条例制定)	H24.6.1	承認
第2号	専決処分の報告及び承認を求めることについて (宇城市税条例の一部改正)	H24.6.1	承認
第3号	専決処分の報告及び承認を求めることについて (宇城市国民健康保険税条例の一部改正)	H24.6.1	承認
第4号	専決処分の報告及び承認を求めることについて (平成23年度宇城市下水道事業会計補正予算 専決第1号)	H24.6.1	承認
第5号	専決処分の報告及び承認を求めることについて (平成24年度宇城市一般会計補正予算 専決第1号)	H24.6.1	承認

●議会の構成

番号	件名	年月日	審議結果
—	議長の選挙	H24.6.1	指名推選当選人決定
—	副議長の選挙	H24.6.1	指名推選当選人決定



議会の 主な動き

平成24年5月1日

平成24年7月31日

5月 8日	議会運営委員会・会派代表者会議
5月11日	小川BSスマートインター整備特別委員会 山形県天童市議会行政視察来庁
5月16日	会派代表者会議
5月17日	小川BSスマートインター整備特別委員会
5月21日	議会運営委員会
5月29日	宇土市議会行政視察来庁
5月31日	議会運営委員会
6月 1日	平成24年第2回宇城市議会臨時会 会派代表者会議
6月 7日	平成24年第2回宇城市議会定例会 (6月25日まで)
6月14日	議会運営委員会・会派代表者会議
6月18日	総務常任委員会・建設経済常任委員会
6月19日	民生常任委員会・文教常任委員会
7月 4日	民生常任委員会
7月12日	小川BSスマートインター整備特別委員会
7月20日	広島県海田町議会行政視察来庁
7月25日	議会改革特別委員会

市議会を 傍聴しませんか?

次の定例会は、
9月開会予定です。

日程などの詳細は、議会事務局 (TEL32-1111) までお問い合わせください。

再生紙使用



環境保護印刷の
水なし印刷で
印刷しています。

印刷/敷島印刷株式会社